



浜松市立上阿多古小学校 学校だより 第5号 令和7年9月10日

2学期 始まりました

今年の夏を振り返ると…

- ・カムチャッカ半島で地震が起こりました。その影響で、日本にも津波警報が出されました。
- ・第二次世界大戦が終わって、80年が経ちました。8/15は終戦の日。節目の年でした。
- ・九州や北陸・東北地方で大雨が降り、大変な思いをした人が大勢いました。船明でも浸水。子供たちにとってはどんな夏休みだったのでしょうか。大きな病気やけがの報告はなかったことに安堵しております。

2学期の楽しみな行事は何でしょう。

- ・高学年 修学旅行 10/9-10
- ・ぎんなん祭り 11/16
- ・上阿多古小チャレンジランニング 12/4 *予備日 12/9

そのほかにも、教科や総合的な学習の時間に校外へ出掛けて学ぶ場が用意されています。自分なりの目標を立て、立てた目標に向かって、行動を起こしていきたいものです。これが「挑戦」だと考えます。やる気になるのを待つのではなく、やる気がなくてもやり始めよう、と励ましていきます。取り掛かり始めることで、想像とちょっと違った景色が見えてくるかもしれませんからです。

2学期のスタートにあたり、子供たちにひとつお願いをしました。それは、「ぎんなん祭り」をひと工夫してみないかということです。今年度からは、ぎんなんを拾って、きれいにし、袋に詰めて、地域の人に渡すことをしません。残念なことですが。イチョウの木から落ちたぎんなんをきれいにする機械が壊れてしまったからです。

でも、地域の皆さんに感謝し、皆さんと楽しい時間を過ごす「ぎんなん祭り」であることは変わりありません。いつもの年と同じようなことをする「ぎんなん祭り」ではなく、「おっ！今年度のぎんなん祭りは、ココがおもしろい！」と思ってもらえるような内容を考えてほしい、というお願いをしました。

みんなで知恵を出し合って計画を立て、準備していくたら、と思っています。

2学期も健康には十分気を付けて。皆さんと皆さんの家族、教職員、そして上阿多古の地域にとっても充実した2学期となるように、頑張っていきます。お力添えをお願いいたします。



家庭学習について考える

長期休業中、学校では、今夏の長期休業における家庭学習について職員で話し合う場をもらいました。7月の面談で、保護者に家庭学習の取り組み方の例を紹介する担任がおりました。また、面談を重ねることで、家庭学習に対する考えが職員自身も変容してきました。子供がいないうところで、子供のことを決めてはいけないとも考えるようになりました。

「多すぎる宿題に困っている」「量が少ないのでないか」など各人様々な考え方をもっていることと思います。

本校としては、家庭学習の内容を、子供と話し合って決めたいと考えています。同時に、家の人の思いも知り、「こういうふうに考えたがどうか」という相談をしたいと考えています。学習のことは、学校にいる間に完結させるべきことかもしれません。家の人の力を借りなくとも学習内容が理解させられたら、子供はきっと家で自分の得意なこと・興味関心のあることに十分時間を見てできることだと思います。しかしながら、なかなか難しい問題です。

私の考える家庭学習をさせる目的を3つ挙げます。

○毎日、一定の時間に学習することで、学習習慣を継続させる。

○復習や予習することで、知識の定着と理解を深めることをねらう。

○自分で優先順位を考えるなど、計画を立てたり自己管理したりすることで、自律性を養う。

現在の家庭学習の進め方で、本当にこれらの目的が達成されているかと言われると、正直なところ答えに困ります。

1~6年生まで、ひとりひとり、様々な発達段階にありますので、みんなそろって同じような家庭学習では無理が生じます。

- ・他の子が自分より少ない量の家庭学習と知り、自分も少なくしたいと「損得」だけで考える子
- ・他の子が自分より多い量の家庭学習と知り、ショックを受ける子
- ・大人から課された家庭学習をそのままやることに抵抗のない子
- ・できる標準問題を繰り返すのではなく、発展問題に挑戦したいと考える子
- ・学習は学校でやるから、家では、家でないとできないこと（音楽を聴く、スポーツをする、本を読む、ぼんやりと考え事をするなど）をしたいと考える子

子供たちは心の奥底ではどんなことを考えているのでしょうか。

人はいつから勉強が「辛く・苦しく・面倒くさい」ものと感じるようになるのでしょうか。

入学したばかりの新入生は、「先生、早く勉強をしよう！」「鉛筆を持って勉強したい。」と言います。それなのに、いつの間にか。

面白いことに、また歳を取ると、学ぶことが新鮮で楽しく感じられるようになってくることもあります。

長期休業中の家庭学習について、皆さんとともに考えてみたく、アンケートを準備しています。回答にお時間をいただくこと、大変申し訳なく思っています。今後の教育活動に必ず生かしていきたいと考えております。忌憚のない御意見をいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

お子さんと保護者様が、家庭で学習することの意味について一緒に考える機会となれば、と願っています。



2025年2月朝会にて
紹介したアンケート結果